広報かじき
No.360
昭和59年10月号
発行 加治木町
編集 総務課

秋晴れの下で（加治木中グラウンド）

運動会

運動会というとだれでも思い出すのが、子供のころ秋の陽を浴びて力一杯走った風景。遠足とともに運動会は、小・中学校時代の楽しい思い出です。

小・中学校の運動会の人気種目といえば徒競走。

こればかりは偏差値なんかに関係ない勝負で、日ごろの優等生が落ちこぼれたりする一面も見られます。

ところで、運動会でのお弁当の一番人気は、やはりおむすび。

やっぱり日本人は、底力を出すには米飯が何よりのようです。

◈人口23,046人（＋12）男10,891人（＋48）女12,155人（△36）世帯数7,875（△22）59.8.1現在　（　）前月比

加治木小学校校舎新築

工事請負契約を可決

第5回臨時議会

第五回臨時町議会が、九月十日開催され、加治木小学校の校舎新築工事請負契約と一般会計補正予算の二議案を審議し、可決しました。

加治木小学校の校舎は、鉄筋コンクリート造二階建て三千二百八十六平方メートルです。

四億一千五百万円で共同企業体が落札

加治木小学校校舎新築工事請負契約は、十六社による指名競争入札の方法で行われ、加治木小学校建設共同企業体（代表者・岩澤英美大英建設株式会社代表取締役）と四億一千五百万円で契約締結することが可決されました。

また、電気設備工事は、四千三百五十万円で南日本電気工事株式会社と、給排水衛生ガス設備工事は、九州電工・共栄建設共同企業体と二千九百十八万円で契約することが決まりました。

工事期間は、九月十一日から六十年九月三十日までの三百八十五日間となっています。

加治木小学校の完成予想図

町長がくわ入れ

起工式は九月十七日、加治木小学校用地で行われ、東町長や議会代表、工事関係者など四十人が出席しました。

起工式では神事の後、東町長や下猶町議会議長などがくわ入れを行い工事の安全を祈願しました。

くわ入れをする東町長

湖江地区 かんがい排水事業など 3,544万9千円を追加

一般会計補正予算

一般会計補正予算は、今年六月から八月までの間の集中豪雨による農業用施設の災害復旧のための補正と木田江湖地区かんがい排水事業に伴うもので、歳入歳出それぞれに三千五百四十四万九千円を追加し、補正後の予算総額は三十七億八千七百二万七千円となりました。

六月から八月にかけての集中豪雨による災害は約五十件発生しており、このうち緊急に復旧を必要とする農地十か所、施設六か所の工事を行うものです。

また、江湖地区かんがい排水事業は、延長約二百八十㍍、幅員二㍍の工事が行われます。

追加された主な事業は、次のとおりです。

▽県単土地改良江湖地区かんがい排水事業工事請負費九百八十万円

▽農業用施設災害復旧工事請負費二千四百二十八万円

牛・豚とも発育は良好

町畜産品評会

町畜産品評会が八月二十八日鎮守小学校跡地で行われ、肉用牛四十五頭、肉牛十頭、種豚十二頭が出品されました。

審査の結果、牛・豚とも発育は良好で、優秀と認められた肉用牛十一頭と種豚九頭が郡の畜産共進会に、また十一月二十日に行われる郡肉牛共進会に五頭が出品されることになりました。

成績は次のとおりです。

▽団体成績

肉用牛…①辺　川②小山田

肉　牛…①小山田②木　田

種　豚…①木　田②反　土

▽個人別成績（最優秀）

肉用牛一部…福森徳昭（西別府）

肉用牛の部でチャンピオン賞

大山美良（西別府）渋谷勲（小山田）川内貞夫（小山田）内村実夫（小山田）垂水純夫（木田）内村照夫（小山田）末吉満也（小山田）内村盛義（小山田）

肉用牛二部…山口正春（小山田）永元初男（西別府）垂水純夫（木田）猪俣春男（小山田）

肉用牛五部…内村幸男（小山田）外園貢（辺川）向江渡（辺川）

肉用牛六部…中野光雄（辺川）内村光男（小山田）岩穴口秋夫（小山田）岩下照男（木田）

肉牛（雌牛）の部

石原五男（木田）市野親義（小山田）高崎光男（小山田）

種豚の部

外薗暢一（木田）末吉君子（小山田）柚木満（反土）南原春男（小山田）下小牧重雄（小山田）

◎チャンピオン賞（農委会長賞）

肉用牛の部＝福森徳昭（西別府）

肉　牛の部＝石原五男（木　田）

種　豚の部＝外薗暢一（木　田）

種豚の部の審査風景

いつまでもお元気で

敬老年金等贈呈式
合同金婚式

多年にわたり社会に尽くしてこられた老人を敬愛し、長寿を祝う「敬老の日」を前にした九月十四日、敬老年金等贈呈式と合同金婚式が福祉センターで開催されました。

八十歳以上の敬老年金対象者は、昨年より六人多い五百二十九人で、東町長は林政雄さん（里ノ下）に年金証書を手渡し「いつまでもお元気で」と祝福しました。

また、長期間にわたり寝たきり老人の介護をされている四十四人にその労苦をねぎらい記念品が贈られました。

続いて、五十年間苦楽を共にして来られた十九組のご夫婦の「合同金婚式」が行われ、一組ごとに金婚の杯をくみかわし、長寿を喜びあいました。

金婚式を迎えられたご夫婦は、次のかたがたです。

山元吉之助・トミ子（里ノ上）
谷口三郎・絹子（里ノ上）
寺川保夫・ヨシノ（柳田）
新添辰夫・ハル子（西反土前）
松崎貞雄・久（向江町）
川原虎男・ヒテノ（岩原西）
安藤安光・サノ（岩原西）
神宮政治・ナヨ（須崎）
前田辰己・フジコ（豊町）
湯川武雄・アイ（弥勒）
向江豊次・キク（提水流）
大宮路篤男・サイ（辺川下）
川原光・ヨシ（茶碗屋）
市来原静男・イト（市来原）
鳥丸清次・トミ（市来原）
山下藤男・ユキエ（楠原）
山下松男・トミ（楠原）
馬場忠彦・シヅ（田中）
福元慶造・サエ（中福良東）

年金証書を手渡す東町長

合同金婚式で三三九度

「泉重千代さんを追い越して」
九十歳以上の長寿者を訪問

敬老の日を前にした九月十三日九十歳以上の長寿者四十五人の家を助役をはじめ町老人クラブ連合会長、県知事代理らが訪問し長寿を祝いました。

上木田の扇薗カ子チヨさん（103）は、向江助役と県知事代理が贈り物を差し出すと深々と頭を下げられました。

向江助役は「町一番のご長寿おめでとうございます。これからももっと長生きされ泉重千代さんを追い越してください」とお祝いの言葉を述べました。

長生きしてください

子供とゲートボールで交歓
楠園自治会の敬老会

しっかりねらって

楠園自治会（今西実自治会長、九十八世帯）では、地区ぐるみで長寿を祝福しようとソフトボール大会と、高齢者と子供たちのゲートボール大会を行った後、敬老会を開き約六十人が参加しました。

ゲートボールの試合は実窓寺公園で行われ、加治屋博之君、下楠薗之也君、松村秀樹君、中平田誠君らが下楠薗フジエさん（七三）などに手ほどきを受けながらゲームを楽しみました。

公民館で開かれた敬老会では、子供たちや婦人部員などが練習を積んできた踊りや歌を披露。壮年会員のカラオケも加わりお年寄りたちは大喜びでした。

前畠半左衛門さん（白寿）に
郵政大臣から記念品

郵政省簡易保険局では、長年にわたる簡易保険・郵便年金事業への協力に感謝するとともに長寿を祝い、老人を大切にする気風を社会的に育てようと、毎年「敬老の日」に白寿（九十九歳）と米寿（八十八歳）を迎えられたかたがたに記念品を贈っています。

今年は、白寿を迎えられた下嶽の前畠半左衛門さん（九月二十日死去）に郵政大臣直筆の文字入り飾り皿と祝詞が、また米寿を迎えられた十六人に文字入りの湯飲みと祝詞がそれぞれ贈られ、九月十三日と十四日加治木郵便局長が各家庭を訪問し手渡しました。

簡易保険局では、この記念品贈呈のほか、高齢の加入者に対し、健康の保持増進、心身の保養の場として加入者ホームを設けるなど「健康で幸福な長寿」の実現に資するため、福祉活動の充実に努めています。

ごぞんじですか……

◎九月一日から、簡易保険の保険料が引き下げられました。
◎疾病傷害特約の保険料は、若い人ほどお得です。

とっさの時の応急手当を研修

救急医療県民講座

人工呼吸法などの実技指導

「救急の日」を前にした九月八日、救急医療県民講座が福祉センターで開催され、子供連れのお母さんや高齢者など約百人の参加者は、口うつし人工呼吸法や心臓マッサージなどとっさの時の応急手当を熱心に研修していました。

これは、県・町が救急医療を身近に考えてもらおうと医師会との共催で開催したもので、「ママの応急手当」の映画を見た後、外科医の立場から大井千尋先生が、壱岐健一郎先生が内科医の立場から「とっさの時の応急手当」と題して講演しました。

大井千尋先生

大井先生は「やけどは冷やすことにより、やけどの部位に起こる病変の進行が止まり、痛みも軽くなる。昔からの民間療法で、しょうゆやたばこの灰などをつける人がよく見られるが、化膿の原因になるばかりです」と話されました。

また、姶良郡西部消防組合救急隊員の指導で、人形を使って人工呼吸法や心臓マッサージなどの実技指導も行われました。

休憩時には、栄養改善推進員手作りのカステラが配られました。

壱岐健一郎先生

交通ルールを守り事故防止を

姶良西部地区総ぐるみ大会

地区住民一人ひとりが安全意識に徹し、職場・家庭・学校など地域総ぐるみで交通安全運動を推進しようと、九月十三日第十回交通安全姶良西部地区総ぐるみ大会が姶良町の中央公民館で開催され、約二百五十人が参加しました。

大会では、加治木町の新田ミツ子さんをはじめ四人がそれぞれ運転手、婦人、子供、事業所の立場から、自分たちの体験を交え「交通安全運動を推進しよう」と意見発表を行いました。

新田さんは「夫が事故を起こしてから〝朝の見送りは笑顔で〟と心がけています。交通安全は心の落ち着きと家庭の平和が大切だと思います」と婦人の立場から意見を述べました。

また、地区民総ぐるみの実践事項と①自ら交通ルールをよく守り、家族ぐるみの交通安全を起点として、事故の撲滅を図る②シートベルト・ヘルメットを着用しますなど四項目を実践していこう、という大会宣言を行いました。

新田ミツ子さん

天神公園にベンチを寄贈

加治木ロータリークラブ

ゲートボールをされるお年寄りに活用してもらおうと、加治木ロータリークラブがベンチ八個を天神公園に寄贈し、喜ばれています。

ベンチはU字溝を逆さに伏せたもので、九月六日と七日社会奉仕員の奉仕作業により設置されました。

贈られたベンチで休憩

横断歩道では手を上げて

交通安全ゲートボール大会

姶良地区交通安全ゲートボール大会（県交通安全県民運動推進協議会主催）が八月二十八日、町役場グラウンドで開催され、六か町から十五チームが参加しました。

ゲートボールを通じ、交通安全運動の啓もうを図ろうと行われたこの大会は、横断歩道や安全地帯が設けられたコートを使って交通ルールを守りながらゲートボールの勝敗を競い合うもので、横断歩道では「左右を確認し、手を上げて渡る」ルールになっており、中には左右の確認を忘れて元の位置まで戻される選手もいました。

結果は、姶良町チームが優勝。二位には溝辺町チーム、三位は霧島町チームが入賞し、姶良町と溝辺町が県大会へ駒を進めました。

左右を確認

城北と竜門が優勝

親子ソフトボール・ラケットボール大会

ラケットボール大会

地区対抗男子親子ソフトボール大会が加治木中学校で、また女子親子ラケットボール大会が柁城小学校で九月二日開催され、地区民の盛んな声援を受けて熱戦が繰りひろげられました。

結果は次のとおりです。

◎男子親子ソフトボール大会

▽優勝…城北地区▽二位…錦江第三地区▽三位…城東地区

◎女子親子ラケットボール大会

▽優勝…竜門地区▽二位…城東地区▽三位…永原地区

ソフトボール大会で優勝・城北チーム

10チームが熱戦を展開

婦人バレーボール大会

婦人バレーボール大会が九月九日、十チームが参加し町営体育館で行われ、熱戦が展開されました。

結果は次のとおりです。

◎Aクラス

▽優勝…加治木スポーツクラブ

▽二位…妃薔薇（ヒローメ）クラブ

▽三位…柁城クラブ

◎Bクラス

▽優勝…錦江同好会▽二位…錦江フレンド▽三位…コアラーズ

好ゲームを展開

諏訪子ども会が二連覇

さわやか少年ソフトボール大会

第七回さわやか少年ソフトボール大会が九月二十三日、加治木中学校グラウンドで昨年より二チーム多い十七の子ども会が参加し、秋晴れの下開催されました。

これは町子ども会育成連絡協議会（岩元房友会長）が、ソフトボールを通じ子ども会どおしの交流や、異年齢集団の中で助けあう心を培おうと、南九州コカ・コーラボトリング㈱やソフトボール協会の協力を得て実施したもので、諏訪子ども会が昨年に続き二連覇を達成しました。

▽二位…楠園子ども会▽三位…永原子ども会、春日・空港子ども会

郷土史探訪 16

田之神

上木田の田の神

「八公二民」という厳しさで、農民は苦しく、少しでも実りが良いようにと祈りを込めて田の神を立てました。

田の神像には、農民たちの生活、祈り、願い、喜び、悲しみが込められています。

加治木には現在、十五～六体以上の田の神が残っています。大部分は農民型ですが、衣冠束帯型が三体あります。

上木田の田の神は、衣冠束帯型では県下で一番古く、明和四年（一七六七年）の作で県指定文化財になっています。

小山田の伊部野と石野の間には、長方形の石に「田の神」と彫っただけのものもあります。

（瀬川　新義）

鹿児島の農村を歩くと、たんぼの片隅や集落の入口などに、こしきすのこをかぶり、右手にしゃもじ、左手におわんを抱いた石像が立っています。

これが田の神です。

田の神は、たんぼを守り豊作をもたらす神で、現在、県下に約千四百体あるといわれています。

現存する田の神で最古のものは、鶴田町紫尾にある宝永二年（一七〇五年）のものです。

田の神信仰は全国各地にありますが、田の神像は旧薩摩藩領にしかありません。

これは、南九州が稲作に不向きなシラス土壌であり、台風の常襲地帯であった上に、上納が

徳永にある田の神

六十メートルの大綱が

錦江第三地区

錦江第三地区（岩崎貞光館長）では、今年も八月二十二日から五日間にわたって十五夜の綱かきが地区公民館で行われました。

綱かきは、子供たちが整えたワラ約二百束を使い、壮年会員や子ども会の育成者たちが「ウィウィ」「ソーレがウィ」と掛け声をかけながら力強く練りあげ、太さ二十センチあまり、長さ六十メートルの大綱が出来上がりました。

九月十日には綱引きが、加治木小学校用地で行われました。

力の込もった綱かき

ふるさとだよりを発行

新開・宮田ケ平自治会

小山田の中郷地区（新開自治会宮田ケ平自治会）では、町外に居住する出身者に地区の様子を知らせようと〝ふるさとだより第一号〟を発行し、六十六人に送りました。

これは三月に完成した集会施設建設の際寄せられた寄付のお礼を兼ね、落成式の様子や町の話題を盛り込んだB5版十ページの「ふるさとだより」を作成し、送ったもので、宮田ケ平の坂元吉夫さんが編集にあたりました。

昨年十一月に神戸市から帰郷された坂元さんは「町外にいる出身者に少しでもふるさとの様子を伝えたい。時期をみて二号、三号と発行してゆきたいですね」と話されました。

「たより」を手に左から
坂元広幸さん，坂元吉夫さん

女の子も大相撲を

西江口団地自治会

西江口団地自治会（後藤憲一自治会長）では九月十四日、十五夜の綱引きと相撲大会を開催しました。

相撲大会には小川貴史君（三歳）をはじめ、小・中学生全員が出場。女の子も大相撲を披露し、盛んな拍手を受けていました。

飛び入りで迫田剛君（中一）を破った後藤自治会長は「強い、必死でした」と話されました。

結びの一番は岩元孝一君（高二）と迫田明さん（三七）の対戦。手に汗握る勝負は、二戦二勝で迫田さんにがい歌があがりました。

相撲の後、婦人のかたがたが準備されたおでんが配られました。

にぎわった相撲大会

青少年の豊かな心を育てよう ⑳

青少年教育

鹿児島・加治木の流れ

（その1）

加治木郷に六代領主島津久徴の創立した毓英館が、加治木における学校の初めとされています。

この教育訓の中に「兵子二世家庭訓」といわれるものがありこれをさかのぼると、鹿児島の諸郷中の「二世組」で、青少年の郷中教育の組織の稚子（小稚子組六歳から九歳、長稚子組十歳から十三歳）と二才組（十四、五歳から二十四、五歳）からなり、二才頭が選ばれ「稚子組」「二才組」のめんどうをみていたといわれています。

この二才組の教育の中に「二才咄格式定目」という十か条に及ぶ教えがあります。

義弘公時代、朝鮮の役が長びくにつれ、青少年の風俗が乱れてきており、留守居家老の一人「新納忠元」は心を痛め、島津忠良の「咄相中」の「一、何色によらず入魂に申合侯儀、肝要たるべき事、一、誰人にても他所に差越侯節、其場において相分りがたき儀到来いたし侯節、幾度も相中得と穿儀いたし、幾度これなきよう相働くべき事」にならい、若者たちが互いに胸襟を開いて話し合える「つどい」を作らせ、これを「二才咄」と名付けました。

この中で武道をたしなみ、山坂達者、忠孝の道、礼儀作法、虚言の禁止、仲間同志が合点がいくまで話し合うべきことを教えています。

なお、新納忠元は大口の地頭で、十七代義久の家老「新納旅庵」と又従兄関係で、その子「新納忠雄」は加治木島津初代忠郎の家老であり、現在黎明館館長で青少年教育に造けいの深い新納教義氏の祖先にあたります。

福祉功労者6人を表彰

第6回福祉大会

第六回町福祉大会が九月二十三日、町営体育館で開催され、身障者や民生委員、保護司会、精簿育成会、母子会、老人クラブなど約百二十人が参加しました。

大会では、物故者に対し黙とうをささげた後東國雄大会会長から、町愛護会の結成に尽力し、同会役員として会の発展に努力された緒方美登さん（長谷）を始め、福祉の向上に務めてこられた六人に表彰状が贈られました。

表彰を受けられた方は次のとおりです。（敬称略）……緒方美登（長谷）原田晴男（田中）川内和子（川内）緒方千代子（岩原西）池田敏春（柳田）神田貞豊（柳田）

福祉功労者を表彰

しっかりねらって

秋晴れに歓声

福祉スポーツ大会

福祉大会に引き続き、スポーツ大会が役場グラウンドで行われ、かねてスポーツに親しむ機会の少ない身障者や高齢者などが、秋晴れの下八十㍍競歩やボーリング大会など二十種目に挑戦し、さわやかな汗を流しました。

川野保育園の園児五十五人による「コアラ音頭」の遊戯の後、身障者による八十㍍競歩が行われ、女性五人も飛び入り参加し、盛んな拍手を受けました。

ボーリング大会では一回で二本のピンを倒し、大喜びでバトンタッチするお年寄りもいました。

昼食時間には望岳園のお年寄りによる器楽演奏も行われました。

交通安全を呼びかけ

柁城小学校鼓笛隊がパレード

秋の全国交通安全運動の始まった九月二十一日、柁城小学校の鼓笛隊二百三十人と交通安全協会の柁城分会員十五人が「交通安全」を呼びかけ、蒲生田通りなどをパレードしました。

パレードでは「児童、生徒の皆さん、道路を横断するときは、左右をよく確かめて渡りましょう」「ドライバーの皆さん。安全運転に心がけ、事故を起こさないようにしましょう」と太田有紀さんと笠真由美さんが道行く人に呼びかけました。

運転中は必ずシートベルトを着用しましょう。

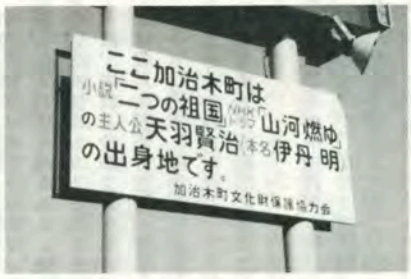
道行く人に交通安全を呼びかけ

ここは「伊丹明」の出身地

国道に看板を掲示

国道十号線の日木山黒川バス停近くに〝ここ加治木町は、小説「二つの祖国」NHKドラマ「山河燃ゆ」の主人公天羽賢治（本名伊丹明）の出身地です〟と書かれた看板が九月十五日掲示され、道行く人の目を引いています。

これは町文化財保護協力会（松元忠富会長）が、小説やドラマで取り上げられた「伊丹明氏」のふるさとを多くの人に知ってもらおうと設置したものです。



日木山に設けられた看板

予防接種と健康診査

（11月）

行事名	該当者	日時	場所
妊婦健康診査		1日(木) 13:30～	福祉センター
三か月児健康診査	59年7月2日～8月5日生まれ	5日(月) 13:30～	福祉センター
三種混合ワクチン予防接種（脱ろう）		2日(金)6日(火) 13:30～14:00	町営体育館
母親学級		21日(水) 13:30～	福祉センター
一歳六か月児健康診査	58年4月24日～58年5月27日生まれ	27日(火) 13:30～	福祉センター
ポリオ（急性灰白髄炎）ワクチン投与	58年8月16日～59年8月15日生まれ（最適期間）	21日(水) 13:30～14:00	町営体育館
		21日(水) 13:30～13:45	竜門小学校
		22日(木) 13:30～14:00	福祉センター
		22日(木) 13:30～13:45	永原小学校
健康体操中央教室		毎週月曜日 9:30～11:30	町営体育館

“まごころ”とどける、赤い羽根。共同募金

10月1日から

十月一日から全国一斉に共同募金が始まっています。

募金は県共同募金会に集められ福祉施設や社会福祉協議会が行う各種事業に配分され、町内に還元されます。

皆さんの温かいご協力をお願いします。

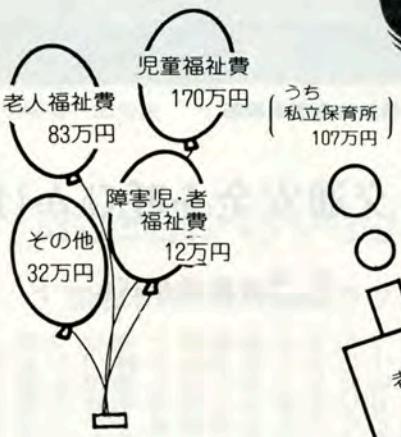
あきかん募金をどうぞ

今年は竜門校区の方に、あきかん募金用ラベルを差し上げます。

机の中にたまっている一円玉や五円玉などを共同募金に寄付しましょう。

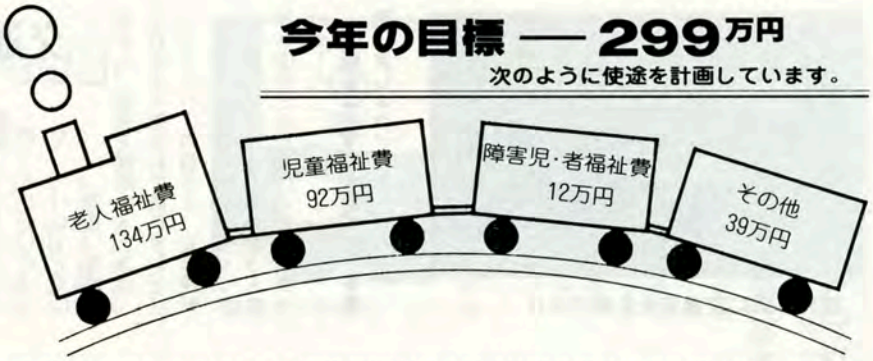
鹿児島県共同募金会
加治木町分会
電話 二一二〇四一

去年の実績 344万円



今年の目標 ― 299万円

次のように使途を計画しています。



所得税の記帳・記録保存制度のあらまし

五十九年度の所得税法の改正により、事業所得等（事業所得、不動産所得または山林所得をいいます）のある人に対して、記帳制度や記録保存制度など新しい制度が設けられました。

そこで、その制度のあらましを説明しましょう。

■記帳制度

五十八年分又は五十九年分の事業所得等の金額が、三百万円を超える人（青色申告者を除きます）は、総収入金額や必要経費を記録し、その帳簿を七年間保存しなければならないこととされました。

（五十八年分の所得が三百万円を超える人は、六十年一月一日から記帳することになります）

■記録保存制度

白色申告で事業所得等のある人は、記帳制度の対象とならない人でも、五十八年分の確定申告書を提出した人や五十九年分の確定申告書又は総収入金額報告書を提出する人は、その業務に関して作成又は受領した帳簿書類等を五年間保存することとされました。

（五十八年分の確定申告書を提出している人は、六十年一月一日以後の取引から保存することになります）

■収支内訳書添付制度

白色申告書の事業所得者等が確定申告書を提出する場合、これらの所得に係る総収入金額や必要経費の内容を記載した書類を添付することとされました。

（六十年一月一日以後に提出する五十九年分確定申告書から添付することになります）

■総収入金額報告制度

事業所得等の総収入金額の合計額が五千万円を超える人（確定申告書を提出した人を除きます）は、総収入金額などを記載した総収入金額報告書を、翌年三月十五日までに税務署に提出することとされました。

（五十九年分から適用になります）

※詳しくは加治木税務署（電話二一二一六一）、または税務相談室（電話〇九九二一二二一七五五四）へお尋ねください。

三十回も献血運動に協力

岩崎京さん・上猶兼信さん

岩崎京さん

上猶兼信さん

曲田の岩崎京さんと東塩入の上猶兼信さんのお二人は、これまで三十回も献血運動に協力され、このほど県赤十字血液センターから銀色有功章を受けられました。

表彰状の伝達は八月三十日町長室で行われ、東町長は「健康に留意され、今後もご協力をお願いします」と、銀色有功章を手渡し、労をねぎらいました。

献血された血液は、病気やけがで苦しんでいる人の生命を救うため輸血に使われるほか、血清などとして使用されています。献血運動にご協力をお願いします。

町商工会が表彰を受ける

献血協力事業所

会員総ぐるみで献血事業の推進に積極的に取り組んでいる町商工会が「献血運動協力事業所」として町内では初めて加治木保健所長表彰を受けました。

町商工会（林敏克会長・会員五百六十人）では、総会で献血運動の推進を決め、献血の行われる日は広報車で会員に献血を呼びかけています。また、献血手帳は会員だけでなく町民のかたがたにも活用してもらおうと、商工会に保管してあり喜ばれています。

表彰状は商工会館で九月七日、土屋高夫加治木保健所長から林会長へ贈られました。

表彰を受ける林商工会長

薬草　知られざる効き目 ⑬

クコ

暮れかかる
刈田の道を帰り来て
ここの川辺に
枸杞（くこ）の実赤し　長谷川銀作

クコは、東アジアの熱帯から温帯に広く分布し、各地の野原路傍、川べり、海浜などに自生する落葉小低木です。

幹はつる状に二～三メートル位に延び、夏から秋にかけ、淡紫色のかわいい花をつけ、晩秋から冬に、楕円形のまっ赤な実を結びます。

春から夏にかけて、その若芽をつんでおひたしにしますと、ほろ苦さがのどの奥までしみわたります。葉を乾燥して「くこ茶」にし、実をしょうちゅうに漬け「くこ酒」にしますと、強壮薬になるそうです。

中国では、昔から上薬として広く利用され、日本でもその葉を「くこ飯」として活用されています。

クコは、どの病気に特効があるというよりも、人間の体調を整える効果がすぐれており、例えば、高血圧の方は血圧を下げ、低血圧の方は血圧を上げる、といわれています。

四季を問わず、その幹を十五センチほどに切り、挿木するとすぐ活着します。春挿木したものが晩秋には実をつけるほど活力のある薬草です。

生垣にすると、葉は食用薬用に、実は「くこ酒」として楽しめますし、初冬のまっ赤な実が人知れず心を和やかにしてくれます。

枸杞（くこ）の実の
人知れずこそ灯しおり　風生

（筆者　上萩大治）

※無断転載は、ご遠慮ください。

竜門の会

投網打つひと影絵めく西日かな　柳田　稔
秋天や無限の蒼（あお）に消ゆる鳥　加藤　白柳
せせらぎに湯の香漂（ただよ）ふ法師蟬　横山　江南
日々耐ふることにも慣れて韮（にら）の花　古江　重美
山並みの霧立ちのぼる真葛原（まくずはら）　鶴田　耕
秋風を集めて柘榴（ざくろ）はしけたり　恒吉　斗南
夕霧（ゆうもや）に灯にじむ石だたみ　内田美津代
朝露やほどよき芝のふみ心地　高木　正男
夕立に棕梠（しゅろ）の並木のけぶりけり　上野　光
朝顔の五百も咲きて終に枯る　須藤　洋子
彼岸花部落ぐるみの納骨堂　川崎　黒兎
肩ほぐす湯槽（ゆぶね）にひそと秋隣　川上　節子
彼岸花土手を綴りて狐道　三浦　ゆう
喜寿迎ふ白き萩咲く家に栖（すみ）み　井之上透山

ごみは決められた日の朝に出しましょう。

お知らせ

加治木団地展示住宅の分譲受付中

一般分譲住宅・宅地分譲も同時受付中です。

お申し込み、お問い合わせは、県住宅供給公社（電話〇九九二―二六―七八三一）または、加治木団地建売展示住宅（電話二―〇二五六）へどうぞ。

自衛官を募集

防衛庁では、次のとおり自衛官を募集しています。

○**二等陸・海・空士**

（応募資格）採用予定月の初日現在、十八歳以上二十五歳未満の男子で、日本国籍を有する者

○**受付**

常時受付けています。

詳しいことは、町役場住民課または、自衛隊鹿児島地方連絡部国分募集事務所（電話〇九九五四―五―一八三六）へお問い合わせください。

◎譲渡価格（建売展示住宅）

▽土地…二三〇・四七平方㍍

建物…八四・七四平方㍍

一千八百二十三万円

▽土地…二三七・六〇平方㍍

建物…八四・七四平方㍍

一千九百二十九万円

◎住宅金融公庫融資八百五十万円

◎住宅の引渡しは十二月初旬予定

交通事故相談

交通事故の相談に専門の相談員が親身になり、無料で相談に応じています。お気軽に相談下さい。

平日は、午前九時半から午後四時半まで、土曜日は、正午まで。毎週木曜日午後一時から四時までは、弁護士相談も行っています。

電話での相談も受け付けます。

■社団法人日本損害保険協会鹿児島自動車保険請求相談センター

（鹿児島市中央町十二―二　明治生命西鹿児島ビル五階鹿児島調査事務所内）

電話…〇九九二―五二―三四六六（直通）

町美展の作品を募集

町教育委員会では、第二十六回町美術展（十一月九日から十一日まで福祉センターで開催）に展示する作品を募集しています。

洋画や写真、書など皆さんの作品をお寄せください。

作品の応募締切は、十一月六日火曜日です。

◎問い合わせ先

町教育委員会（電話二―二一一一内線四十五番）

うぶ声

出生児　保護者　自治会

市来　彰浩　精　萩　原

久永　美希　繁夫　小　烏

伊東麻里子　修平　萩　原

川野　留美　國雄　春日団地

岩下真太郎　秀久　楠　園

楠木　恒　保志　今　町

植木健一朗　保　柳　田

下川　敏男　滋志　浜　村

畠中　賢悟　利行　赤　坂

有馬　陽子　道雄　弥　勒

脇　智美　孝義　須　崎

宮路香菜子　悟　須　崎

日高伸一郎　深　鶴　原

木原　彰彦　正直　蔵王団地

畠中健太郎　求　布　越

大内山　薫　健一　須　崎

外川内雅美　誠　下新道

和田さおり　良人　高井田

川原　麻希　秀行　西江口団地

牧野　俊一　澄博　垂ノ口

柿内　久美　希夫　赤　坂

服部　一宏　良市　新　中

増田　雅　明　浜　村

針原　志保　正弘　中　央

瀬戸口　誠　渉　江口団地

吉本みなみ　尚樹　向江町

坂元美智代　正廣　西反土後

内田　卓　徳美　西塩入下

犬童さやか　久智　於　里

有村　麻美　謙一　高井田

▽九月二十日までに住民票に記載された分を掲載しました。

無料人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権擁護委員が自宅でも相談に応じています。お気軽に相談下さい。

秘密は固く守られます。

宮城俊治　港町一三一番地一二一（電話三―三七八七）

田中重男　仮屋町六四（電話二―二二六〇）

中摩多美子　反土二七五六（電話二―二七六八）

ご寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝

二万円

東塩入　金丸初子（夫秀夫　五三）

五万円

柳　田　西ハシエ（夫行教　八〇）

一万円

端　山　岡田トキ（夫貞男　六五）

一万円

田　中　畑ユリ子（夫征治　三九）

三万円

上　獄　田中ヒサ子（夫早苗　六七）

二万円

豊　町　竹下基子（母タ子　八五）

三万円

萩　原　市来シズエ（夫政治　七二）

二万円

天　神　竹下光二（妻ヨシエ　六〇）

三万円

隈原上　隈原ミドリ（夫光男　五九）

二万円

西ノ原　森茂樹（妻美津子　四八）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円

東塩入　金丸初子（夫秀夫）

＝町国民年金協議会へ＝

二万円

隈原上　隈原ミドリ（夫光男）

＝町老人クラブ連合会へ＝

二万円

上　獄　田中ヒサ子（夫早苗）

▽九月二十日までのご寄付を掲載いたしました。

記事訂正とおわび

九月号の記事中誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正します。

▽三ページ「長寿番付」中溝口ノキ（九三）望岳園を天神に訂正します。